

# 越谷、所沢南 両チームV



△北関東支部夏季大会  
日本リトルシニア北関東支部夏季大会は5日、尚美学園大学グラウンドで決勝が行われ、越谷と所沢南が七回、一ーで日没のため、優勝を分け合った。越谷は春夏連続優勝。所沢南は支部タイトルを初めて手にした。



所沢南一越谷 越谷打線を3安打1失点に抑えた所沢南の貫井

◎：越谷・鈴木、所沢南・貫井の息詰まる投手戦は互いに譲らず、引き分けた。越谷は四回、中越え二塁打の堀越が、加藤の二ゴロで三進。今津の内ゴロが敵失を誘い、先制。その後も毎回走者を出すものの8残塁と攻め切れなかった。エ

1点を追う所沢南は七回二死から田中が中前打で出塁。越智の二塁打、黒川の四球で満塁とする。暴投で同点に追い付いた。投げては

貫井が越谷の強力打線を相手に1失点(自責点0)の好投。七回二死一、三塁のサヨナラの場面も踏ん張った。18人で勝ち取った優勝「選手たちが笑顔で終えることができてよかった」

所沢南	打	安	点
高藤	3	0	0
小斎	2	0	0
野村	2	0	0
伝田	3	0	0
越智	3	0	0
黒川	3	0	0
貫井	3	0	0
池田	3	0	0
計	22	3	0

越谷	打	安	点
青塗	2	0	0
宮崎	3	0	0
吉野	1	0	0
鈴木	4	0	0
堀越	2	1	0
加藤	3	0	0
津本	2	0	0
野田	1	0	0
川崎	1	0	0
泉	1	0	0
木田	1	0	0
計	26	3	0

所	5	2	2	0	3	0	4
越	振	球	犠	盗	失	併	残
	3	4	0	0	1	1	8

▽	二	塁	打	堀	越
越	智	▽	暴	投	鈴木
貫	井	▽	審	判	鈴木
渡	辺	田	壘	尾	形
千	田	直	井	▽	試
時	間	1	時	間	41



と試合後、越谷の秋山監督は話した。支部大会春夏連続覇が懸かっていた越谷。四回二塁打を放った堀越が敵失で生還し1点を先制したが、七回に追い付かれ、単独優勝はならなかった。それでも支部大会2季連続優勝は10年来ない快挙だ。春の支部大会を制して越谷は関東連盟夏季大会に臨んだが、3回戦で3位になった千葉市に0-1で惜



優勝を分け合った越谷(上)と所沢南(下)

敗。目指していた日本選手権出場はならなかった。越谷の選手たちは悔しさ

をね返してきた。今津主将は「3年生全員で試合ができ、良い大会だった。本当に楽しい3年間だった」と笑顔を見せた。

チーム設立9年目にして悲願の支部タイトルを手にした所沢南。選手たちに胴上げされた田中監督は「選手たちの力を信じていた。最後にやってくれた」と顔をほころばせた。

目ごろの教えが土壇場で実を結んだ。七回二死。ここまで一安打に抑えられてきた越谷の鈴木から、田中が中前打で出塁。越智の二塁打、黒川の四球で満塁とする。暴投で試合を振り出すと、



田中監督



小高主将

「同時優勝だうれしい。お互いを信じ合って、野球ができた」と主将の小高の顔には充実感があふれる。準々決勝で、支部大会秋

快進撃を続けた所沢南。決勝では越谷と互角に渡り合った。勝ち上がることに力を付けた。チームの目標は創立10年目までに(春・秋の)関東大会に出場すること。3年生たちが後輩たちにその礎を築いた。田中監督は「この優勝を一つの自信とし、高校で一人一人が花を咲かせてほしい」と選手たちに言葉を贈った。